

視 察 報 告 書

報告者氏名おだぎり たかし

1 委員会名

議会運営委員会

2 期 日

令和6年10月28日（月）～10月29日（火）

3 視察地及び調査事項

（1）石川県金沢市

- ・子ども議会教室について
- ・通年議会について

（2）新潟県上越市 2日目

- ・議会改革の取り組みについて

4 所感等

（1）石川県金沢市

・子ども議会教室について

市施行60年まであと3年、現総合計画実施計画5年目となる現状を踏まえ、市議会の役割や機能のさらなる発揮と新しい時代への発信につながる取り組みの参考になった。

金沢市議会の取り組みでは、小学生を対象としていることから、意見交換の深まりなどに課題はあると捉える。しかし議会が積極的に扉を開き、様々な年代に議会や議員の疑似体験できる環境を整える取り組みは大変興味深かった。

いっぽう、毎年恒例行事にしていることや、仕組み上、議会事務局の事務負担の増大を招いており、本市議会で導入する場合は、目的、その目的に照らした世代の選択、内容の精査、取り組み後の意見徴収の仕組み、学校行事等との十分な調整が必要と考える。

・通年議会について

本市議会では、過去、通年議会の導入の是非を議論し、導入しないことを全会一致で確認してきた。

今回改めて導入された金沢市議会での取り組みをお聞きできたことは、大変有意義だった。本市議会の場合、議案採決結果や、討論本数、その他行事との調整、とりわけ行政事務のスムーズな執行を考慮すれば、本市議会の場合は、通年議会の導入という目新しさを追及するより、今の議会運営や中身をさらに深め合い、互いに切磋琢磨し、有意義にすることが重要であることを改めて認識できた。

・その他

本市はベッドタウンであることから、市長が進める「観光（交流人口）優先行政」に対しては強く批判的立場で対峙しているものの、金沢市は新幹線駅から徒歩10分以内の距離に道幅4メートル以下の道路網が縦横に存在する「町屋」が今でも多く、広く存在し、その作り込み（写真参照）は本市でも参考にできると思われる。



金沢駅近くの高層マンションやホテル群とも近距離ながら、残存している町屋風景と、住宅改修時に外壁への工夫をされています。むき出しの電柱と周辺の電線を町屋の雰囲気から目立たせない工夫（衝突防止対策（黒色と黄色の表示）はアリ）をしています。



「瓢箪長」にちなみ、個人住宅の入口にさりげない飾りや、新しいホテル建設時に、町屋の通りの風情を活かす外壁飾りを実施し、一体感が出ています。民間住宅ながら、窓部分に木造の飾りつけ。宅内の通気性は不明ですが、一気に歴史観があふれる見た目になります。

(2) 新潟県上越市 2日目

・議会改革の取り組みについて

議会運営上の課題をはじめ、市民の期待に対する到達などを踏まえ、議会基本条例の見直し、それに付随した議会報告会や市民との意見交換の場の設置などの努力には大変感銘をうけた。

いっぽう、「『会派』がなぜ2名以上としたのか」、「議員全員が参画した議会運営をなぜ図るのか」、「思想信条、政策の違いだけに固執せず、なぜ政策的一致点を模索するのか」など、本市議会の歴史に裏付けされた特徴（値打ち）を風化し、それが「当たり前」となった議会の現状しか知らない議員が数多く占める今、改めて議会基本条例を学び、不断に努力することの重要性が高まっていることを痛感した。

上越市議会で、議会報告と市民との意見交換を切り離し、さらに意見交換の「場」について、「深める場」と、「とにかく気軽

に意見をお聞きする場」と分けられて取り組まれていることは興味深かった。本市でも2つの私立大学の現場に議会として出かけて意見交換することや、民生委員、商工会、指定管理者の委託事業者など様々な団体や世代と意見交換できるようになればさらに意義深いものになると思われる。

会は、本市議会でも大いに参考にできるヒントが数多くあり、取り入れられるポイントを精査したい。